

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)本川町一丁目マンション

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				3.0	0.15	3.2	1.00		3.1
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				3.0	0.50	3.5	0.50		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		界壁は、コンクリート18cm以上で、GL工法を用いていない		3.0	-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		LL-45相当の床材を採用している		3.0	-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-		
2 温熱環境				1.7	0.35	3.0	1.00		2.6
2.1 室温制御				1.7	1.00	3.0	1.00		
1 室温				1.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-		
2.2 湿度制御				-	-	-	-		
2.3 空調方式				-	-	-	-		
3 光・視環境				2.7	0.25	2.8	1.00		2.7
3.1 昼光利用				3.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光率				-	-	5.0	0.50		
2 方位別開口				-	-	3.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	1.00	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		開口部に庇及びカーテンを設けている		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	1.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	1.0	0.25		
4 空気環境				3.6	0.25	3.3	1.00		3.4
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		建築基準法規制対象外となる建築材料ををほぼ全面的に採用して		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.40	2.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	-	1.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.7
1 機能性				2.5	0.40	2.2	1.00		2.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	2.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	2.0	1.00		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		居室天井高を2.5m以上としている		3.0	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-		
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		メンテナンスが容易な点検口及びさや管ヘッダー方式等を採用して		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		長期的な定期点検を実施する		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30	-	-		2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主としてB種を採用している		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30	3.1	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	-	0.50
1 階高のゆとり	階高2.91mとしている		4.0	-	4.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			4.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			3.2	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性	構造躯体内への埋め込み配管を無しとしている		4.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	建物の色彩等周辺環境と調和させている		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 1.04		2.6	0.50	-	-	2.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			4.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0の断熱材を採用している		2.0	1.00	-	-	-
3 冷媒			-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物(参照値)に対して75%		3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-